

共通実践主題 本宮小学校区・繫小中学校区

# 子どもと一緒に教振に参加して、 読書について考えよう！

盛岡市教育振興運動目標（平成 23 年～27 年度）

家庭・地域社会・学校が一体となって  
心豊かな「盛岡の子」を育もう  
-じっくり読書、たっぷり体験、しっかり生活-



本宮小：6年生による読み聞かせ（宝積活動）



繫小：むかし遊び交流会



繫小中：盛岡さんさ踊り（つなぎ子どもさんさ）



本宮小：宮古市立愛宕小学校との交流会



繫中：3年生による読み聞かせ（家庭科）



本宮小：図書館の使い方（児童朝会：図書委員会）

本宮小学校区教育振興協議会

繫小中学校区教育振興協議会

## 教育振興協議会第Ⅰ地区の事務局校



子ども達と一緒に学び  
教育振興の絆を強めよう

本宮小学校区教育振興協議会会長

鈴木 寛隆

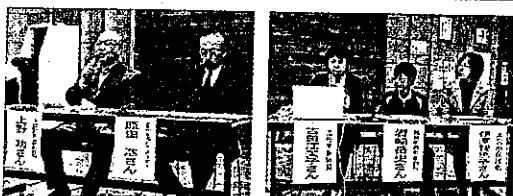
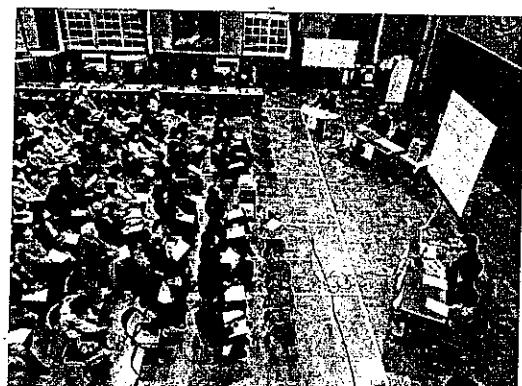
盛岡市教育振興運動地区別集会第Ⅰ地区集会開催にあたり、多くのご参加を賜り心から感謝申し上げます。千年に一度と言われる大震災に見舞われました。内陸部の我々は、子ども達と一緒になり沿岸被災学校支援という形で震災支援に取組み、現在も継続しています。いわば特別な年の地区集会です。

第Ⅰ地区集会発表の繫小中学校区と本宮小学校区は、市教育振興運動第10次5か年計画スタートの年にあたり、市共通取組目標「みんなで読書に取り組もう」に向けて2学校区の実践発表資料を合本にしました。読書活動に係わる実践活動の内容についても、何度も打合せを行い、本日を迎えてます。

そして、2学校区の実践発表は、子ども達と一緒に発表するように、活動の計画から吟味しました。5年、10年先を見据えた読書活動を考えました。

また、本宮小学校区では、「本宮の教育を語る会」と「教育振興実践発表会」を毎年開催しており、その成果が第Ⅰ地区集会に表れることを期待しています。

本日は、ご忌憚のないご意見をたくさんいただきますようお願い申し上げます。この地区集会を機会に、盛岡の未来を担う子ども達が、活き活きと遊び、学べるように、また、第Ⅰ地区的教育振興の絆がより強い絆になることをお祈りして、ご挨拶といたします。



H22.11.25 「本宮の教育を語る会」 5人のパネラー



H23.1.28 「本宮小学校区教育振興実践発表大会」での子ども達の発表



## I 本宮小学校区の概要

- ◇ 藩政時代から城下町盛岡の近郊農村としての性格を担ってきた地域であり、零石川と北上川との合流点から南西に開けた本宮地区と仙北町の西部の一部が学区である。
- ◇ 近年、盛岡市総合発展計画推進の中で、仙北西地区土地区画整備事業が終わり、学校周辺の田園風景が新市街地として形成された。更に、同計画の盛南開発事業の進展に伴い大型ショッピングセンター等が続々入り、大きく変貌している。
- ◇ 本校より西1km地点に初の平民宰相原敬の生誕地があり、原敬記念館がある。また、学区内に盛岡市子ども科学館をはじめ、先人記念館、遺跡の学び館、アイスアリーナ、総合プール、県立美術館があり、教育環境に恵まれている。
- ◇ 平成24年4月に向中野小学校が本宮小学校から分離開校する予定である。  
現4年生以下の児童約340人が向中野小学校へ行く予定である。

## II 平成23年度 本宮小学校区教育振興運動活動計画

### 1 平成23年度実践主題

盛岡市の運動の目標

家庭・地域社会・学校が一体となって、心豊かな「盛岡の子」を育もう  
—じっくり読書、たっぷり体験、しっかり生活—

盛岡市の共通取り組み目標

みんなで読書に取り組もう

本校の実践主題

家庭・地域社会・学校が連携を深め、心豊かな「本宮の子」を育てよう  
— 子どもを豊かに育てる本宮の「宝」を通して —

### 2 活動の重点

※以下の点について、学校、家庭、地域が協力して取り組む。

#### (1) 読書活動への取り組み

- ・学校では、読書冊数目標に向けて取り組む。
- ・一週間に一回の「家族読書デー」に取り組む。
- ・地域の図書施設（公民館など）を利用して、読書の機会を増やす。
- ・学校図書館の充実と子どもの読書活動の推進

#### (2) 安心安全な地域づくり

- ・挨拶運動を推進する。
- ・世代間交流等の行事や、郷土の歴史、自然、文化とのふれあいの機会をもつ。
- ・それぞれができる範囲で日常の見守り活動を行う。

#### (3) 望ましい生活習慣の確立

- ・「早寝、早起き、バランスのよい朝ごはん」で一日の生活リズムをつくる。
- ・テレビを消して、時間を決めて家庭学習や読書に取り組む。
- ・家族の一員として家の仕事を行う。

### 3 事業計画

(1) 平成23年度本宮小学校区教育振興協議会評議員会の開催 6月13日(月)

- ・ 年間3回 6月13日(月), 10月頃, 12月頃
- ・ 教育振興運動の活動方針を決定する。
- ・ 教育振興運動の実際について総括する。

(2) 地区懇談会の開催

期日 6月29日(水), 7月5日(火), 7日(木), 8日(金), 11日(月)

- ・ 学校, PTA役員, 地区のPTA会員(父母)の他に地区住民の方(町内会, 民生児童委員, 少年指導員等)にも参加していただき, 本会の具体的な運動の進め方について話し合う。

- ・ 地区特有の問題や要望について話し合う。
- ・ 「まなびフェス」(学校・家庭・地域が協働で策定する基礎基本定着のための具体的な目標)についてその取り組みの成果や課題についての意見を交流し合う。

(3) スポーツ交流の推進

6月～8月

- ・ ドッジボール大会 6月18日(土)
- ・ ゲートボール大会, 各種スポーツ大会に向けて取り組む。

(4) 「本宮の教育を語る会」の開催 (今年度は教振第I地区集会発表と共に)

- ・ 教育振興運動方針や活動の重点に合わせた具体的な活動内容についてご意見をいただく。

(5) 教育振興第I地区集会発表大会 11月5日(土)

- ・ 会場: 本宮小学校
- ・ 発表: 本宮小学校, 繫小中学校
- ・ 「みんなで読書をしよう」「震災の取り組み」について意見を交流しあう。

(6) 平成23年度「本宮小学校区教育振興運動実践発表会」の開催 1月27日(金)

- ・ 平成23年度の地区子ども会, 児童センター, 本小児童会の取り組みの発表。

(7) 体力向上への取り組み

- ・ 業間マラソンへ取り組ませる。
- ・ 可能な限り歩いて登校させる。
- ・ 日常生活の中に運動の機会を意図的に取り入れる。

(8) あいさつ運動の推進

年 間

- ・ 家庭では, 家族間であいさつをしあう。
- ・ 地域では, 近所の人々とあいさつをしあう。
- ・ 学校では, 同級生, 同学年, 友人, 先生とあいさつをしあう。

《具体取り組み例》: 強化週間・月間を設定する。

各種集会・活動の場であいさつの励行を呼びかける。

(9) クリーン作戦の実施

年 間

- ・ 町内会の行事予定にあわせ, 日時を決定し, 成果の向上を目指す。
- ・ アルミ缶回収の取り組み(地区の資源回収に合わせて)を行う。
- ・ 昨年同様資源回収が主であるが, 地区により各種の施設訪問等も検討して頂く。

(10) 伝統芸能, 繙承活動の推進

- ・ 大宮さんさ, 大宮神楽などの子ども教室開催の後援

### III 教育振興協議会としての取組み

#### 1 地区懇談会

地区懇談会は、本宮小学校では、教育振興運動の一つとして毎年開催しています。今年度も、6月下旬から7月上旬にかけて12地区9会場で開催され、会には保護者・教員、子ども会役員・町内会役員・民生児童委員・少年指導員・町内の方々など延べ300人程度の参加がありました。

はじめに、教育振興協議会役員から本宮小学校区教育振興協議会評議員会で決定された実践主題と活動の重点及び事業計画を説明し、それを受け実践主題についてどのように取り組んでいけばよいかを話し合いました。活動の重点である①読書活動への取り組み②安心・安全な地域作り③望ましい生活習慣の確立について、「まなびフェスティ」とも関わらずながら熱心に協議・意見交換が行われました。また、今年度は震災を受け、学校や地域では防災に関してどのように考えていいたらよいかということも話題になりました。

児童の健全育成のために学校・家庭・地域の協働が大切であることを確かめ合いました。

#### 保護者・地域からの願いや意見の一部

##### 【地域の活動、ルール・マナーについて】

自転車乗りの仕方が危険、遊歩道の花を抜いたり落書きをしたりする児童がふえている。  
→地域・学校・家庭でその都度その場で注意をし、善悪の判断のできる子にしていきたい。  
家庭でも受け止めてしっかりと指導していきましょう。地域の一声が危険を防止します。



##### 【読書活動にかかわって】

「家族読書デー」「親子読書」は難しいけれど、「まなびフェスティ」によって意識しながら取り組んでいる。家族で向き合うきっかけになっているのでいいことではないか。  
地域の公民館活用も考え協力していきたい。



##### 【その他】

ラジオ体操もきちんとできるようにさせたい。  
→地域・親が教えましょう。本宮四丁目ではお年寄り、地域の方々みんなが一緒にになって行いよい交流の場となっています。

##### 【震災にかかわって】

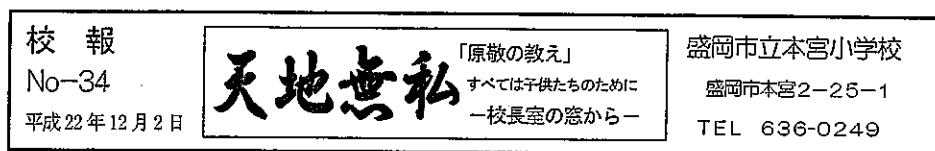
災害時の児童の下校について、是非家庭で避難の仕方を話し合いましょう。話し合うことが大事です。町内でも避難訓練を実施します。親子で参加しましょう。

## 2 本宮の教育を語る会

本宮の教育を語る会は、年1回開催され、昨年度は、11月25日（木）若葉ホールを会場に開催されました。

盛岡市議会議員 金沢陽介 様、盛岡市子ども科学館長 菊池直 様をはじめ多数の来賓の皆様、地域・保護者の皆様、教職員、そして6年生を中心とした子ども達も加わり、総勢210名の参加でした。「親子で考えよう食育を！」のテーマとパネルディスカッションという形式で、パネラーと子ども達を含む会場の参加者が熱く語り合い、有意義な時間となりました。

校報No.34 H22.12.2より



### 心をひとつにして みんなで考える本宮の「未来」 校長 平 政光

師走に入り、週の始めには雪がふわふわと舞い降りてきました。昨日から冬の交通事故防止県民運動も始まっています。地域みんなで大事な子供たちの命を守っていきたいものです。

さて先週、本宮地区の教育振興運動の大きな取り組みの一つである「本宮の教育を語る会」が行われました。一足先に鈴木会長から「PTAだより号外」も出していただき、概要はすでに読みになつたことと思います。閉会の挨拶でも申し上げましたが、本宮の「教振」は、他地区にはない財産をもっています。その一つが今回の「語る会」、そしてもう一つが1月に行われる「実践発表会」です。この2本柱は本宮の宝物なのです。

【校訓】「宝積」  
人に恩くして、  
見返りを求めない

### 「本宮の教育を語る会」が開かれる

「本宮の教育を語る会」は本宮小学校区教育振興協議会の主催で毎年行われているもので、今回は金沢市議会議員様、盛岡子ども科学館の菊池直様をはじめ多数の来賓の皆様、地域・保護者の皆様、教職員そして今回からは子供たちも加わり、総勢210名の参加のもとで開催されました。

冒頭に教育振興協議会会長（鈴木寛隆PTA会長）から「どこにもない本宮の財産をみんなの力で守っていきましょう。」と挨拶がありました。今回の目玉は、何と言っても「パネルディスカッション」です。初めての取り組みでしたが、会長の強い思いで実現しました。テーマは「親子で考えよう食育を！」です。パネラーは各界から5人に登場してもらいました。それぞれが、食育に携わる立場から、その思いや願いを伝えてくださいました。（写真下）また、後半では“親子で食育を考える”ための貴重な「提言」もいただきました。会場の子供たちからも発言が飛び出し、今後が期待できる有意義な時間となりました。

また、今年度から本格実施しております「まなびフェスト」についても、先日の検証結果にもとづく成果と課題について本校の武田主幹教諭から説明がありました。裏面にその概要を掲載させていただきましたので、ぜひご覧ください。今後の各家庭の取り組みの参考にしていただければ幸いです。

創業150年の老舗で、50年以上本宮小学校に豆腐（豆腐ではありません）を卸しています。大事なことは家族団らん、みんなで一緒に楽しく食事をすることです。  
給食食材業者 上野 功さん

健康な身体をつくるためには、好き嫌いせずしっかり食べること、そのためには食べてもらうための調理の工夫も必要です。専門的な工夫もありますが、まずは①心を込めて、②一緒に作り、③一緒に食べることが大事です。  
CAFE HARADAオーナー 原田 浩さん

給食室への感謝を忘れず、毎日の当番活動を続けています。世界中の人が幸せになれるよう、食べ残しを減らす工夫を考えていきたいと思います。  
給食委員会委員長 岩崎岳史君

食育は子育ての過程でもありました。それぞれが仕事を抱える中で、子供と一緒に作り、子供と一緒に食べる…その過程で、子供たちとの理解が深まり、家族の絆も深まったように思います。  
保護者代表 伊澤 智恵子さん

親子で一緒に考える  
「食育」

今日の話し合いで今後の食育の視点が明らかになりました。  
①食のバランス（食の質の向上）、②親子でつくることによる交わり（絆の深まり）、③感謝の心（命をいただくことへの気持ち）、④世界の食糧問題（食べられずに困っている人・もつたらない精神）。今日の話し合いをもとに、一人一人が食育を考える入り口にしたいものです。  
コーディネーター（校長）

まとめ

食育は「知・徳・体」を形成する土台、正に「生きる力」の源です。人は「他の命」を頂いて生きていることへの感謝の気持ちを忘れないでほしいと願います。  
吉田江英子主任栄養士

### 3 本宮小学校区教育振興運動実践発表会 平成23年1月28日(金)

本宮小学校区教育振興協議会では、毎年学区単独で実践発表会を行っています。昨年度は、1月28日(金)に盛岡市教育委員会社会教育指導員の中村利之先生と指導主事の照井大道先生を助言者としてお招きし、多数の地域の方々に参会して頂き開催しました。

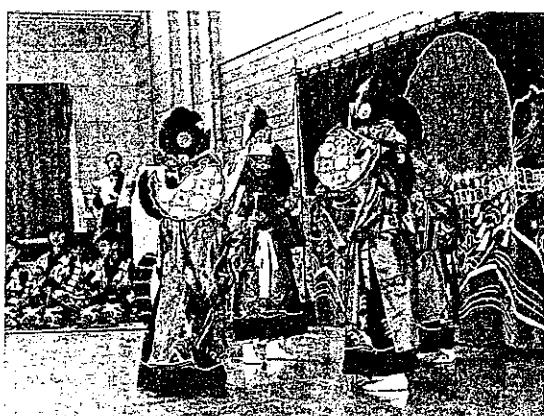
開会に先立ち「大宮神楽子ども教室」による演舞と図書ボランティアのみなさんによる「本の紹介と読み聞かせ」が行われ、本宮を支える大きな力に拍手が起きました。実践発表では、11地区子ども会と児童センター・児童会が活動と成果がよくみえる発表を堂々と行いました。

指導の先生方からは、「年々レベルが向上し内容が充実しています。自分達の力で楽しい活動を開いていくことは、大人になったときのよい経験につながるでしょう。」「自信をもって発表しています。それは、小さなことの積み重ねとみんなで互いに力を合わせてきしたことの結果です。」とたくさんのお褒めの言葉を頂きました。

#### 【子ども会の主な発表内容】

- 全子ども会・・・ドッジボール大会への取り組み・資源回収・美化活動
- ・本五子ども会 : 交通安全技能大会・納涼祭・本の交換会・敬寿会との交流会
- ・本宮二丁目子ども会 : 夕涼み会・クリスマス会・町内輪投げ大会
- ・大宮子ども会 : 大宮神社子ども神輿・冬休み手作り双六
- ・下鹿妻子ども会 : 世代間交流ゲートボール大会・遺跡の学び館で体験
- ・本宮第一子ども会 : 泉神社例大祭・ふれあいゲートボール大会
- ・向中野B子ども会 : 諏訪神社まつりや敬老会に参加・ボウリング大会
- ・向中野C子ども会 : ドッジボール大会・夏冬行事ボウリング・スケート
- ・本四子ども会 : 交通安全技能大会・ふれあいゲートボール大会
- ・越場子ども会 : 世代交流餅つき会・地区夏祭り・夏行事カレーライス作り
- ・向中野A子ども会 : 町内夏祭り諏訪神社例大祭・ふれあいゲートボール大会
- ・本宮三丁目子ども会 : 輪投げ大会・世代交流ゲートボール大会

※インフルエンザの流行により世代間交流の場が減った地区が多かったです。



「大宮神楽子ども教室」による演舞



「図書ボランティア」による読み聞かせ

## IV P T Aとしての取組み

### 1 本小まつり 平成23年7月9日

P T A専門部「本小まつり運営部」が企画・運営した『本小まつり』は、本年度も大盛況でした。

学校の子ども達と保護者、そして地域の方々とのふれあいを目的に、今年度もたくさんの企画がありました。大宮中学校吹奏楽部のステージ発表、盛岡商業高等学校ボランティアクラブのみなさんによるお化け屋敷、毎年大人気のおやじの会のみなさんのコーナー(綿飴・射的・ヨーヨー)、絵本の読み聞かせやフラワーアレンジメント教室、囲碁・スライム・ペーパークラフト作りの教室、そして6年生子ども店員によるバザーなど、とても暑い一日ではありましたが、どのコーナーも長蛇の列ができるほど大にぎわいでした。

向中野小学校との分離前最後の『本小まつり』に、子ども達は、目を輝かせ参加しました。

P T A会議資料より



大宮中学校、盛岡商業高校の皆さんにもご協力いただきました！



2011.7.9 盛岡市立本宮小学校

大盛況！ご協力に感謝いたします！

# 本宮小学校

# 図書ボランティア

## <通常の活動>

### 1. 読み聞かせ

(1) 昼休みの読み聞かせ (週1回, 20分間)

聞きたい児童が集まります。

1年生が中心に30~50人程度。



(2) 朝時間の読み聞かせ

(学年で頻度は異なります。15分~20分間)

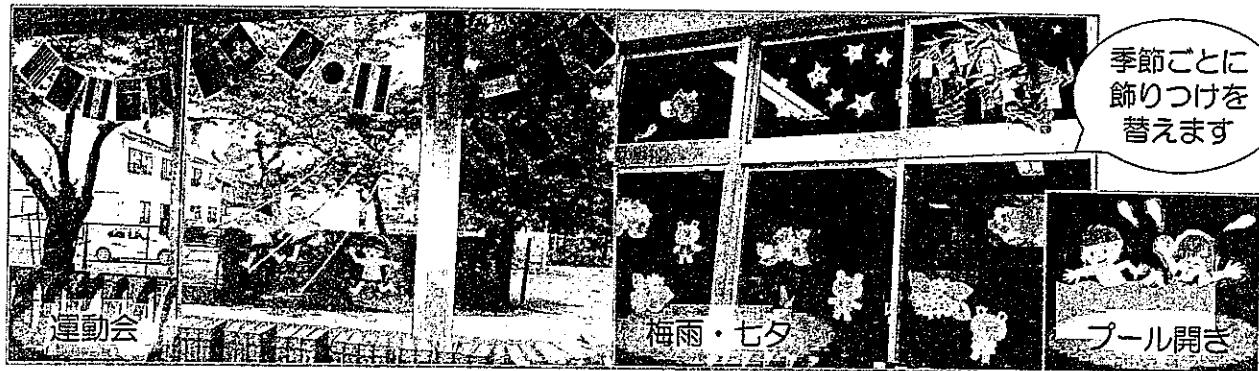
1学期は全学年、全クラスに入りました。

絵本の読み聞かせや、お話（ストーリーテリング）をしています。



ござを敷いて行儀よく座ります。

### 2. 図書室の装飾、本の修理 (月1回)



20人程度で活動しています。読み聞かせのみ、修理のみのメンバーもいて、各自ができる範囲で楽しく活動しています。

## <今年度の取り組み>

### 1. 本小まつりでの読み聞かせ

- (1) おまつり時間中、休みなく読み聞かせをしました。  
子どもたちは途絶えることなく、来てくれました。
- (2) 部屋の前にはおすすめの本を並べ、ちょっとした  
読書コーナーを設けました。



読み聞かせの部屋を用意

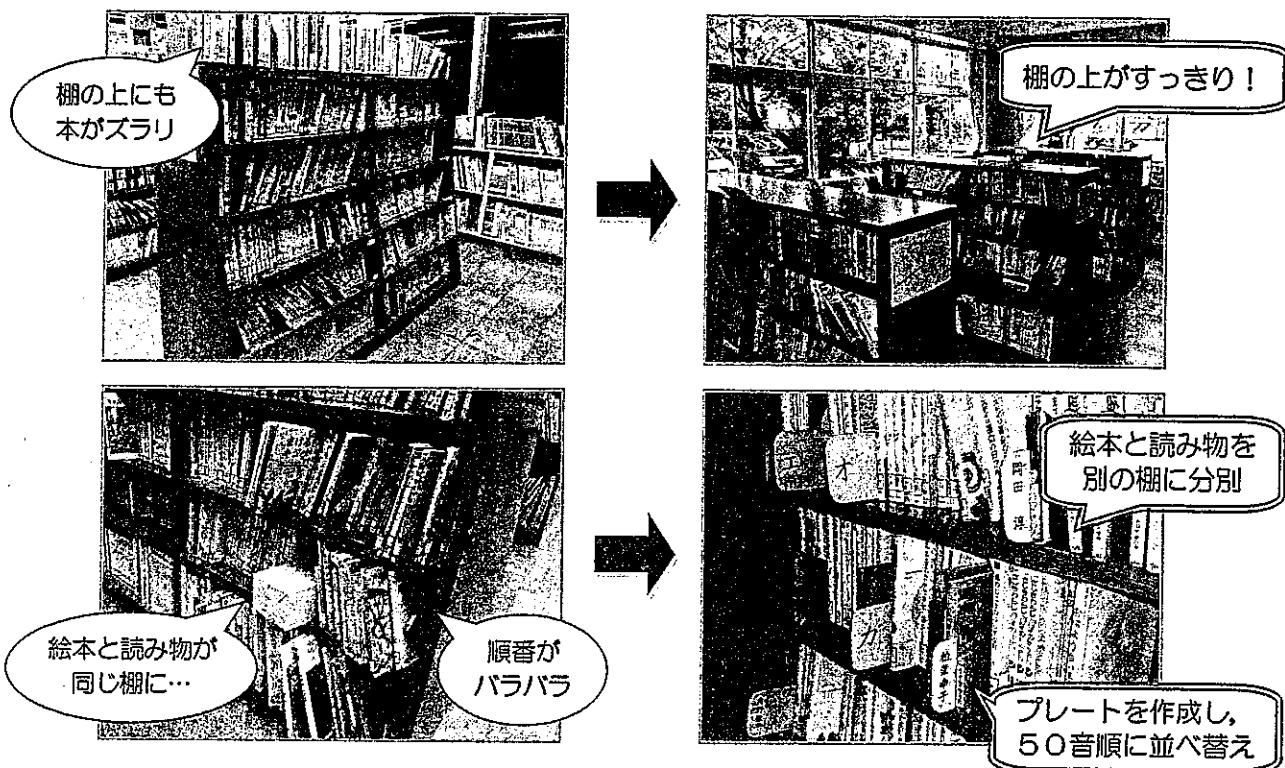
### 2. 図書室の本の整理

整理前	整理後
1. 本の量が多く、本棚の上にも本が積まれ、落ちてくる危険があった。	◆古い本は抜き取り、本棚に収まる量にしぼった。
2. 絵本も読み物も一緒に入れてあり、順番もバラバラだった。	◆絵本と読み物に分け、作者50音順に並べた。 ◆50音のプレートを差し込んで見やすくした。



#### 改善の効果

1. 本が落ちてくる危険がなくなった。図書館がすっきり、明るくなった。
2. それぞれの本の置き場所が整理されたので、借りる時も返す時も探しやすくなかった。
  - (1) 同じ作者の本が並ぶので、シリーズを見つけやすい。
  - (2) 気に入った作者の本を探しやすい。



## 読書のお悩みQ&A

### <本を読むように言っても、なかなか読まない>

受身のテレビに慣れてしまうと、想像力を働かせなくてはならない読書は初めは大変！努力が必要です。まずは読んであげて、本の楽しさを知らせてあげてください。読んでもらうことは、耳からの立派な読書です。

### <読み聞かせのススメ>

就学前までは本を読んでもらっていたのに、小学校に入学し、字を習うと、自分で読むように言われる子が多いのでは…。けれども、字が読めても、一つ一つ文字をたどって読んでいては、想像力を働かせるのは難しいもの。自分で読める力量の本ではつまらないと感じて、本から離れてしまう子も多いようです。

本を読まない子には、ぜひ読んであげてください！ 高学年にも！！

### <読んであげたいけれど、時間がない>

昔話や連作もの（同じ主人公が活躍する短いお話）、短編集など、10分で読めるおもしろい話もたくさんあります。

長い話は、少しずつ読み進めていいともいいと思います。初めの方を読んであげれば、おもしろくなって、続きを読む自分で読むかもしれませんよ。

### <どんな本を読んだらいいの？>

本のガイドブックも出ていますので、参考にしてみてはいかがでしょうか？



本のガイドブック



連作もの

あまんきみこ

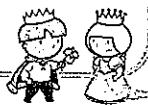


短編集

むかしばなし

## <本日のミニおはなし会 プログラム>

1. 詩 「名づけあそびうた」 川崎洋 『ことばあそび5年生』(理論社)
2. お話「みそ買い橋」 『子どもに語る日本の昔話①』(こぐま社)
3. お話「あいうえ王子」



## <本の紹介>

ここに紹介した図書は、本校小中学生の図書室にそろっています			
ジャンル	題名	出版社	備考
詩	ことばあそび 1年生~6年生	理論社	複数の詩人のおもしろい詩が のっています。
	すき	理論社	谷川俊太郎さんの詩集
	版画 『のはらうた』	童話屋	版画の挿絵がかわいい！
昔話	子どもに語る 日本の昔話①~③	こぐま社	日本の昔話、知っているようで 意外と知らないのでは…
	子どもに語る○○の昔話	こぐま社	グリム、イタリア、イギリス、北欧、 アジア…20冊以上あります。
	愛蔵版 おはなしのろうそく1~10	東京 子ども図書館	エパミナンダス、なまくらトック他。
	子どもに聞かせる 世界の民話	実業之日本社	81の国の昔話がのっています。
	こども世界の民話上・下	実業之日本社	字が大きいので低学年でも 読めると思います。
	イギリスとアイルランドの 昔話	福音館書店	みそ買い橋にそっくりなお話 『スワファムの行商人』
ことば あそび	それ ほんとう？	福音館書店	(あ)~(わ)までのことばあそび。 声に出して読んでみよう。
	ことばのこばこ	瑞雲舎	18種類のことばあそび。
本の ガイド ブック	小学生が好きになる こんなに楽しい子どもの本	メイツ出版	カラーの写真入り。 あらすじや年齢の目安など。 きっとお気に入りがみつかるはず！

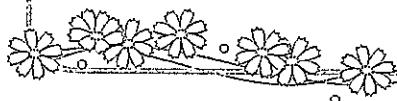
子どもに読み聞かせをすることは、心に種をまくようなものです。

すぐに目に見える効果はなくとも、いつか種から芽が出て葉を茂らせ、花を咲かせます。

そして、大好きな身近な大人に読んでもらった楽しいひとときは、その声とともに、

深く子どもの心に根をおろし、その子の生涯を支えてくれます。

(東京都子ども読書活動推進資料 2003より)



本校小中学生の図書室にそろっています

本校小中学生の図書室にそろっています

本校小中学生の図書室にそろっています

## V 地域・子ども会活動の取組み

### 1 本宮第一子ども会の活動から 「児童図書館復活にむけて」

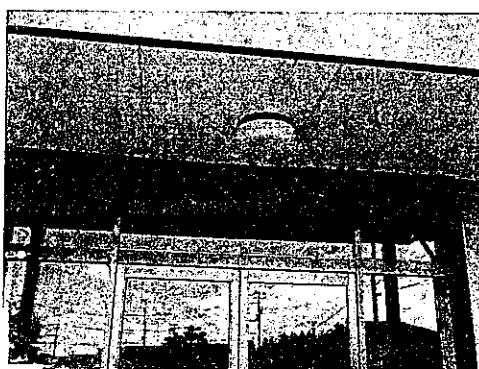
#### (1) はじめに

本宮第一子ども会のある、本宮第一町内会は、本宮村時代から村役場、消防、駐在所、商店街が立ち並び、本宮の中心地として栄えてきました。近年は、仙北西区画整理、盛南開発等があり、次々と大型店の出店、西まわりバイパスの開通などにより、街並みや生活が大きく変化してきました。アパート、マンションも多く立ち並び、新しく住民になられる方も増えています。

現在、子ども会は、93世帯、116人、4班編成で活動しています。地区の活動として、年5回の資源回収、泉神社例大祭の神輿や出店の参加、老人運動会、ドッジボール大会、町内会敬老会等地域への参加・交流を続けております。

#### (2) 図書館復活にむけて

本宮第一公民館には昭和58年～平成12年まで開けていた児童図書館が2階にあります。閉館後は会議室となっております。今回、本宮小学校のまなびフェストの中に「地域で読書活動の推進」というテーマがあり、せっかくある図書館なので開けてみては？という声がありました。子ども会としては、お手伝いする親の負担を考えると難しいものもありましたが、子ども達にとっては身近な図書館になるので良いお話をもあり開館する方向で進めることにしました。



公民館入口の看板



二階への階段

#### ①臨時総会

まずは、子ども会育成会会員の皆さんのお意見を聞き、ご賛同いただきたいということで、臨時総会を開きました。町内会長からは「一人でも多く興味を示してくれるのなら協力します」とお言葉をいただきました。

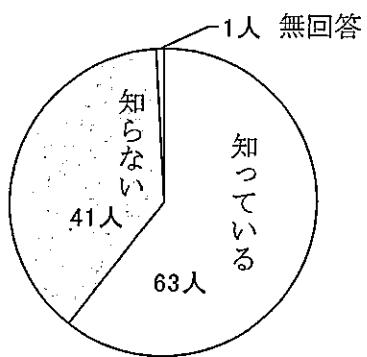
#### 【出席者からは】

- ・親が忙しい中で開けるのは難しい。
- ・この日、この時間だけだと来る機会を失ってしまう。開ける時間が問題だ。

- ・もし、月1回だと、子ども側からすると利用しづらい。
  - ・貸出になった時、返却のタイミングを失ってしまうとなかなか返せない。
  - ・本の事だけでなく他の事も考えなくてはいけない。
  - ・子ども達の意見を聞いた方が良い。
  - ・主体は子どもなので、子どもが興味を示す本を選ぶ。
  - ・行事がある時に開けてほしい。
  - ・開放するには試行錯誤しながら、少しずつ良い方向にもっていかなければよいのでは。
  - ・きっかけとして動いてみて、それからスタートしても良いかも。
- 他にも様々な意見がありましたが、まず、子ども達の意見を聞く必要があるということで、子ども達にアンケートを行いました。

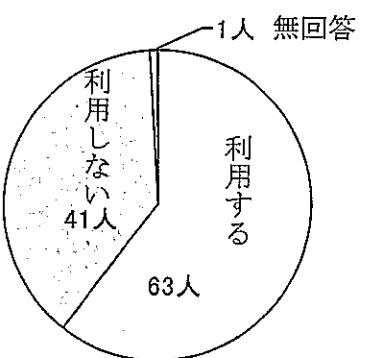
②子ども達へのアンケート結果・・・115名中 105枚回収（無回答あり）

(ア) 図書館を知っている？



- ・知らない子の多くは最近転入した子どもや低学年の子どもでした。

(イ) 図書館を利用する？



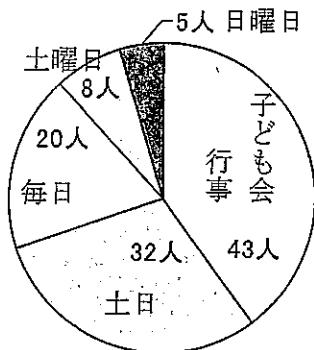
【利用する人の理由】

- ・たくさん本を読みたいから
- ・近くで本を借りられたらとても良い
- ・本が好き
- ・おもしろい本があるかもしれない

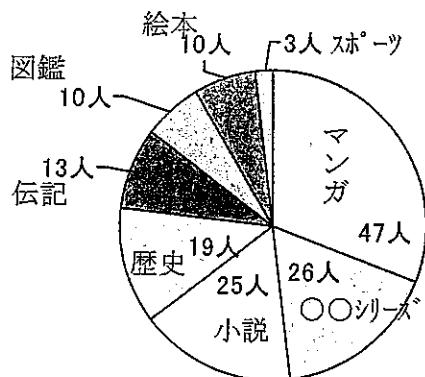
【利用しない人の理由】

- ・古い本しかない
- ・学校で借りる
- ・家から大きな道路を渡っていくので遠い
- ・時間が無い

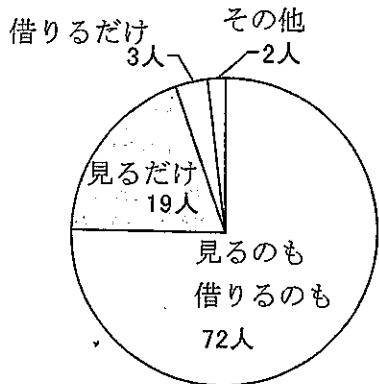
(ウ) いつ利用したいか？（重複回答有）



(エ) どんな本が好きか？（重複回答有）



(オ) 図書館には



以上がアンケート結果です。

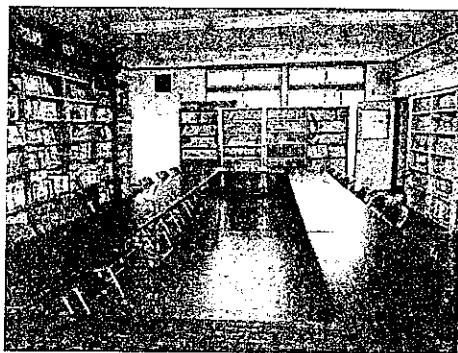
子ども達の希望通りに進むと良いのですが毎日開けるのも難しいし、マンガ本はなるべく親としては避けたいところです。歴史や伝記、図鑑をじっくり読みたいという子ども達も多いようです。子ども達行事を上手く利用しながら月数回開ければ良いのかなと思っています。

### ③近隣図書館への見学

同じように公民館の中に児童図書館があり、30年も続いているという大宮児童図書館を今後の参考のため、見学に行きました。

本宮第一公民館と大きく違うのは本が見やすい、わかりやすい、手に取りやすいという点でした。本宮第一公民館には、本はたくさんありますが、閉館していた年数も長い為、日に当たり、背表紙が色あせています。子ども達の手に届きやすい所にマンガシリーズもあり、どうしてもそこに目がいくようです。

図書ボランティアさんからの意見もあり、表紙を見せて手にとりやすい本棚作りから始めようということになりました。



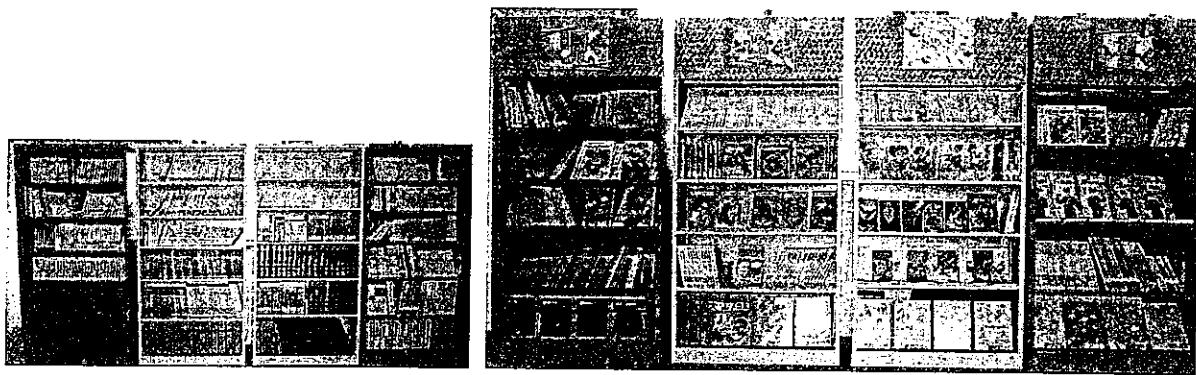
以前の図書館の様子



以前の図書館の様子

#### ④本の整理

今ある本をチェック、把握しようと思いましたが、本の数が膨大でとんでもないことに気付きました。前の図書館長さんが、きちんと台帳記入し、購入した年度ごとに本を並べてくれていたようです。その台帳には、一般図書を含め寄贈図書が1,146冊、購入図書が2,259冊、合わせて約3,400冊。これでは時間がかかりすぎるということで、一つのコーナーだけ手にとりやすいように整理し、並び替えてみることにしました。



以前の図書館の様子

現在の図書館の様子

本棚の一番上は、子ども達が高くて取りにくいだろうということで、かわいらしく児童図書を飾り、本の量を減らし、表紙を見せて、明るい感じにしてみました。子ども達には、並び替えしたことは何も話していませんでしたが図書館に入るとすぐ、本を取り、いろんな場所で読み始めました。以前マンガシリーズだけ読んでいたのに、並び替えをただけでこんなにもすんなり、いろんな本を読んでくれるとは、とてもうれしいことでした。子ども達からは見やすい、読みたい本があった、借りたいという声もあり、この日貸出しできると思っていた子もおりました。見やすい、手に取りやすいということがとても大事だと子ども達から教わった一日でした。

#### ⑤次への課題

- ・貸出しを中心に進めておりますが、開館するにはまだまだ時間がかかります。  
まず、曜日や時間をどうするのか。
- ・図書係について
- ・膨大な本の整理、管理について
- ・児童図書館が2階にあるので、足を運びやすくする為の工夫について

検討することは山積みです。それでもたくさんの方々のご指導、ご協力をいただきながら、ここまで進むことができました。

これからも児童図書館復活にむけて町内会からのご支援の下、一步ずつ進んでいきたいと思っております。

## 2 本宮三丁目子ども会 「みんなで読書をしよう」

### 1 地区の様子

本宮三丁目子ども会は54世帯、児童数72名三班編成で活動をしています。地域との交流行事として、美化活動、輪投げ大会、敬老会、世代交流のゲートボール大会等の交流行事により地域との親睦を深めています。また、地域の周辺に子ども科学館、先人記念館、遺跡の学び館、美術館、アイスアリーナ、総合プール等の文化施設や体育施設が徒歩の圏内にあり、恵まれた環境にあります。

### 2 読書の取り組みについて

本宮三丁目子ども会は、教育振興活動の一環として「みんなで読書をしよう」というテーマを掲げて、子ども会活動では下記のような取り組みを実践しました。

- (1) 読書アンケート
- (2) 岩手県立図書館見学と読み聞かせ（夏休み子ども会行事）
- (3) 親子読書モニター（3世帯）

#### (1) 読書に関するアンケート

子ども会で読書に関する現状把握のために小学生と保護者を対象に読書アンケート調査を2回に渡り実施しました。（6月、8月実施）

##### 【質問1】一週間にどのぐらい読書をしていますか？（小学校のお子さん全員）

取組状況	全くしない	30分以内	30分以上	合計
取組前（6月）	4	17	25	46
取組後（8月）	2	16	31	49

##### 【質問2】一週間にどのぐらい読書をしています？（保護者）

取組状況	全くしない	30分以内	30分以上	合計
取組前（6月）	16	9	11	36
取組後（8月）	5	15	18	38

##### 【質問3】「まなびフェスト」の中で「一週間に1回の家族読書デー（同じ時間に読書をしよう）」という取り組みがあります。現在の取り組みはどうですか？また、「家族読書デー」に取り組んでいる方にお尋ねします。

どのように取り組んでいますか？（保護者）

取組状況	全くしない	30分以内	30分以上	合計
取組前（6月）	17	13	6	36
取組後（8月）	9	12	17	38

また、「家族読書デー」の取り組みについては、多くの保護者からご感想をたくさん寄せいただきました。

- ①寝る前に読み聞かせをしています。県立図書館に月2回程行き、絵本を5冊程借りて来ます。又、図書館の読み聞かせ会があれば参加しています。(小1)
- ②小さいときほど読み聞かせをする機会が減っていましたが、今回の取り組みで久々に読み聞かせをしたら、子どもが喜んでいました。一人で本が読めるようになっても、やはり誰かと一緒に読書することはうれしいようです。(小2)
- ③夏休みに読書カードがあり、親子読書に取り組みました。寝る前の時間を利用しているので、時間は短いのですが、1週間のうち半分以上はできました。休みが終わっても続けて良いと思っています。(小2、小3)
- ④下に小さい子がいるので、その子に絵本を読み聞かせている横で兄(小3)が読書をしているという程度です。私はごくたまに読めるかな?という位で、本格的に取り組んでいるといえませんが、読書の楽しさは皆とても感じています。休日に家族で日中にゆっくり読書に取り組んでみたいと思っています。いつも寝る前に読んでいます。(小3)
- ⑤土曜日か日曜日に「読書をしよう!!」と子どもを誘って、一緒に読書を行っています。大人も子どもも読書をする事から学び得ることが多いという点は同じ。一緒に取り組もうと話しています。結果が自己啓発のきっかけに繋がってくれるよう願っています。子どもにも目的意識を明確にして取り組む事も効果的なのではないかと考えます。(小4)

## (2) 岩手県立図書館見学会と読み聞かせ(夏休み子ども会行事)

### (ア) 岩手県立図書館見学会

本に興味をもってもらう為に夏休み行事で県立図書館の見学を行いました。

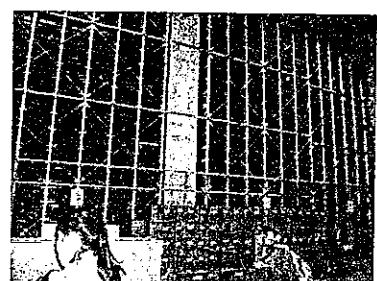
- ・期日：7月30日(土)
- ・参加者：児童38名、保護者も含めると約50名
- ・9時30分に林古公園を出発して、歩いて30分で県立図書館のあるアイーナに到着。
- ・10時～11時までは県立図書館の見学コースと児童コーナーでの自由読書の2グループに分かれて体験しました。
- ・普段は見ることが出来ない書庫を見学しました。自動書庫では、コンテナに収納されている本がバーコードを読み取るだけで、手元に運ばれてくるというハイテクを見ることが出来ました。



林古公園をいよいよ出発



自動書庫で本を運ぶ機械



沢山の本を保管している書庫

### (イ) 読み聞かせ

夏休み行事の一つとして、読み聞かせの時間をもちました。図書ボランティアとして小学校で読み聞かせの活動をされている2名の地区のお母様に、本を読んでいただきました。アイーナの図書館まで往復歩き、スイカ割りをして、昼食を食べて・・・と疲れもあり集中力も限界で飽きてしまっているのではと心配はありましたが、本を読み始めた途端子供たちは本にクギ付けで、読み聞かせをしてくれる方をジット見つめていました。その様子には、その場に一緒にいた他の保護者の方もびっくりしながらもとても感心していました。



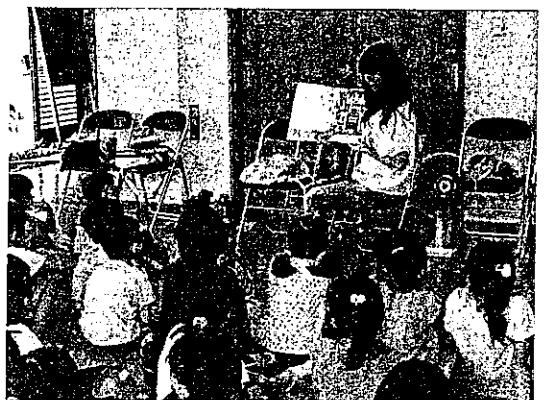
「森のくまさん」はたのもしいね！



子ども達は読み聞かせが大好きですね！

低学年向きの絵本では、高学年は興味を示さないかもしれないと思いましたが、6年生の児童より「しばらく読んでいない『絵本』だったが楽しかったので、また読みたい」という感想をもらいました。物語ではない「探究」のような科学の絵本もびっくりする程反応を示し、読み聞かせイコール物語という考えをもっている保護者には新しい発見でした。

「読み聞かせ」は年齢が関係なく、必要なもののかなあと思いながら、根っこはやはり子ども達は本が好きなんだなあと感じました。子ども達の反応に、いい意味でびっくりしながらもやさしい読み手さんの声に穏やかな気持ちになれた時間でした。



懐かしい絵本の読み聞かせを聞いてよかったです！



楽しい読み聞かせ会を終えて全員集合！

### (ウ) 県立図書館の見学を終えて

- ・普段見られない書庫が見られて楽しかった。
- ・機械で本をコンテナが運ばれる所が楽しかった。
- ・たくさんの中古本が見られた。今度また行ってみたい。
- ・昔の本を保存しているのがすごかった。

### (3) 親子読書モニター

子ども会から、無作為に兄弟のいる3世帯に親子読書に取り組んだ感想やその方法等を下記のように取り組みの実践を報告してもらいました。

#### 【事例1】3年生男子、6年生女子、母親

今（夏休み中）は学校からの「夏休み親子読書カレンダー」の取り組みもあり、意識して親子読書に励んでいる。小6の子は一人でも読書するので、あえて小3の子と一緒に声を出して読む（音読書）ことにした。親としては、色々な本に興味をもって読んでほしいが、子どもは学校で読んだ本、気に入った本を読みたがる。同じ本を何回も読むので、本は子どもに選ばせて、最初は親と子が交互に丸読みをし、次第に読む量を長くし、最後は数ページずつ交互に音読した。2学期もこのような形で親子読書に励んでいきたいと思う。

#### 【事例2】1年生女子、3年生男子、5年生男子、父母

月に一回は、家族皆で県立図書館へ行き、子ども達は読みたい本を数冊ずつ借りて来ます。そして、それぞれが好きな時間に読んでいる状況です。親が時間の空いた時に子ども達を誘って一緒に読むようにしていますが、しっかり取り組んでいるとはいえません。親子一緒でとなると、親の方がもっと意識して、積極的に時間をつくつていかないと正直難しいなあと実感しているところです。

#### 【事例3】4年生女子、6年生男子と父母

夏休み中は、時間があったので、特に日時の取り決めをせず、家族一緒に本を読めるときに数回読みました。まずは、“最低15分”を目標に、それぞれが好きな本を持ち寄って、取り組みました。読み始めると15分以上読むことが出来ました。

今後は、平日はなかなか時間がとれないで、家族で話し合って時間を決め、休日に取り組みたいと考えています。

## 3 成果と課題

読書に関する取り組みを今まで行ったことがなく、今回が初めての取り組みでした。1回行なっただけで果たして効果があるのか？不安を抱えながらスタートしました。結果ははじめに報告した通り良好で、この取り組みがささやかながらもきっかけ作りになつたかと期待させるものでした。

アンケートで各家庭の親子読書デーの取り組み方法を寄せていただきました。一言で親子読書といつても各家庭さまざまな取り組み方法があり、とても参考になるものでした。このアンケートは集計して会員に配布し、とても喜ばれています。今回、手ごたえを感じたので、今後も定期的に読書に関する行事を取り入れ、会員間の情報交換を積極的に進めていきたいと考えています。

### 3 大宮子ども会

#### 「地域の宝－大宮児童図書館－」と読書活動

##### 1 設立の経過

昭和40年ごろ、本宮第三町内会（平成20年町内会名を変更して大宮町内会となる）の会員の中から、「本を読みたいが経済的な面からなかなか本は買えない」との声があった。その頃、昭和47年に盛岡市の市民生活課より、補助金を出すので各公民館で図書館をつくるらしいという話があった。当時の町内会役員会で「公民館はただの集会の場ではなく、教育の場である」という主旨のもとに、いい機会だということで盛岡市に児童図書館設置の申請をした。しかし、すぐには認可が下りず、何度も何度も市に出向き陳情した結果、昭和50年公民館内に「本宮第三児童図書館」が設置され、昭和53年に盛岡市立図書館の分館として本の貸出が正式に認められ開館した。図書棚等は町内会個人から寄贈を受け、現在もそのまま使用されている。また、図書の充実を図るため、町内各家庭にさらに献本を呼びかけたところ、多くの本が集まり、児童図書館の基礎ができた。

児童図書館として開館後、市立図書館に本の貸出状況を定期的に報告するなどし、少しずつ実績を積んで、助成金を受けられることとなった。また、子ども達に読んでもらいたい本や大人も借りられる本を選ぶなど、図書の充実に力を入れた。

その後、小学校・中学校PTA活動として、図書館活用、読書運動につながって、図書の貸出量の増加と内容の充実をはかる事業が展開されて、現在の「大宮児童図書館」になっている。



盛岡市公式ホームページ「ウェブもりおか」に掲載されている「大宮児童図書館」

## 2 組織と運営

開館については、当初町内会運営としていたが、昭和53年4月小学校及び中学校両PTAの協力を得て、図書運営委員会を設置した。現在は、町内会と小学校子ども会PTAから図書委員が選出されて運営している。

開館時間は、原則土曜日の午前9時～9時30分までとしている。係は当番制とし、小学校PTA会員が2名の交代制で開館、受付、返却の事務処理を行い、子ども達が自由に来て、貸出を受けられるよう体制をとっている。年平均の開館日数はおよそ33回になっている。

- ・ 本の貸出ルールは、①借りられる本は1人5冊まで。②貸出期間は、最長1ヵ月。
- ③3月は貸出をしない。(整理、補修のため。)

## 3 活動内容

### (1) 運営委員会

年間の開館スケジュール及び当番表の作成

図書当番は貸出カード、返却カードの記入、本の整理

### (2) 本の充実

市立図書館からの図書の借入 4月、7月、10月、翌年1月

市立図書館からの助成により新刊購入 9月

### (3) 読書活動の推進

○例年、12月の冬休み中にクリスマス会を開催して、多くの子ども達を集めて盛り上げをはかり、2月には年間の総まとめとして、本をたくさん読んだ子ども達を表彰している。

○読書への関心を高めるため、平成19年には個人の読み終わった本や資源回収に出された中でまだ読めそうな本を欲しい人に譲ったり、平成20年からは読みたい本をなるべくたくさん用意できるように、図書コーナーに「リクエスト帳」を設けたりした。

### (4) その他の活動

○本宮地区内でこれから児童図書館の開館を検討している他の地域から図書館の視察を受け、意見交換等も行った。

○今年の夏休み行事では、6年生が紙芝居や大型絵本の読み聞かせを行うことにした。

絵本は、参加の人数が多く絵が見えないことを考え「大型絵本」を選んだ。しかし、都南図書館からの借入期間が一週間であったため、足を頻繁に運ばなければならなかった。紙芝居は、怖い内容の時は暗幕で部屋を暗くしたり、6年生がお化けになって、聞いている子ども達の回りを歩いて懐中電灯を使って脅かしてみたりと工夫をこらし、子ども達も真剣に聞いてくれた。この行事の為に6年生は、7月の初旬から何度も何度も読み聞かせの練習を重ねた結果、当日の発表を限られた時間の中であったが、一生懸命上手に読んでくれて、大成功で終わる事ができた。

## 4 読書活動について

今年の7月7日、本宮小学校の地区懇談会が開かれた際に、菅原吉男町内会長から、「子ども達の読書力を高める」読書会をやってはどうか、という次の提案があった。

- ① 町内会や家庭でできる読書活動にはどんなことがあるか考えてみよう。
- ② 家庭や町内会の中で音読、朗読の場をつくり、親子読書や子どもの音読を聞くようにしてはどうか。
- ③ 大宮町内会、老人クラブ「大宮本三会」、風の会、子ども達、大宮PTA合同の読書会をもってはどうか。

との提案があった。

「読書会」については、子ども達やPTAからも賛成を得た。そして、6年生の子ども達が進んで集まり、町内会長と話し合った結果「6年生が音読、朗読する」、すぐに本から詩を選んで読み方の練習に入るなどを決めた。

子ども達が選んだのは、40年前に谷川俊太郎さんがつくった「生きる」という詩であった。この詩は、今回の震災をきっかけに更に注目をあび、今も谷川さんの愛読者が集う「コミュニティ」で読まれ、今も1万8千件を超える書き込みが続く話題の詩で、中学校など様々な場所で読み直されているとのことである。この読書会ではこれからも、子ども達の音読の発表や風の会の読み聞かせなどをやる計画で進めている。

(今では、6年生の子ども達の音読が毎日のように茶の間に響いている。)

#### 【読書活動以外について】

大宮地区内には、今から1200年前に建てられた「大宮神社」があり、その例大祭が毎年8月17日に行われ、その際に子ども会全員が参加し、「子ども神輿」を担いで町内を練り歩いている。今年で34年目となる伝統ある行事になっている。

町内の皆様の協力もあり、今年は悪天候の中ではあったが、大きな支障もなく終わることができた。夜には歴史のある大宮神楽や民謡、子ども達のダンスの発表、カラオケ、盆踊りなど盛大に催され、歴史を顧みながら住民とのふれあいの場になった。



8月17日 大宮神社の前で「子ども神輿」を奉納して記念撮影

## 5 まとめ

- 大宮児童図書館は、子ども会PTAの参加を主体に、PTA活動の一環として位置づけて、父母、子ども達が読書できるようにしている。
- 開館にあたっては、PTA会員の当番制にして多くの人が参加できるようにしている。
- 本を借りて読書量の多かった子ども達を年度末に表彰し、読書の意欲喚起に努めているが、利用者の顔ぶれが固定化しつつある。さらに皆が利用できる工夫が必要である。
- 毎年新しい本の導入や市立図書館の貸出を利用して、子どもの興味ある図書を増やしている。

### <参考資料>

表-1 登録者・利用者の貸出状況（22年度実績：平成23年3月末現在）

	児童・幼児	大人	合計
登録者数	119人	36人	155人
利用者延人数	614人	貸出総冊数	2,832冊

表-2 児童の利用状況の推移

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22
利用者延人数	284人	229人	280人	457人	442人	544人
貸出総冊数	1,156冊	1,009冊	1,292冊	2,021冊	1,968冊	2,507冊

表-3 22年度末在庫冊数

児童向け	工作・科学等	幼児向け	大人向け	22年度 新書	総合計冊数
849冊	96冊	184冊	472冊	79冊	1,680冊

## 6 成果と課題

### (成 果)

- 貸出総冊数の統計の仕方が工夫されていて集計しやすくなっている。
- 子ども会の様々な行事の中で読み聞かせを行うなど本に触れる機会が多くなっている。
- 大宮児童図書館は、公民館を通して世代の交流が活発で、年齢問わずコミュニケーションの場になっている。町内会からは様々な協力も多く、今回も読書会を開いてもらい、子ども達が詩を選び・読み・詩の意味を話し合うなど多くの協力を得ている。

### (課 題)

- 図書館の整備。（見やすく、取りやすく）
- 図書館の増築。（手狭により）
- 図書館スペースの拡充と図書の増数をはかること。
- 大人にも、もっと活用して欲しい。（本の種類や貸出時間の検討）

今回この教育振興第I地区集会の発表の機会に、大宮児童図書館ができた経緯の話を聞くなど貴重な体験をすることができた。

したがって、子ども達の教育のために児童図書館設立に尽力された方々へ感謝と、大宮児童図書館の歴史をこれから的孩子も達にも伝えていきながら、活気ある図書館運営を行い、「風の会」の企画や大宮全体の読書活動の推進に全面的な協力をていきたい。

## VI 本宮小学校の取組み

### 1 まなびフェストと連動した読書活動の推進

学校・家庭・地域との連携・協働による教育の推進として取り組んでいる「まなびフェスト」において、「読書活動」は大きな取り組みの一つです。学校、家庭、地域からの意見を参考に、今年度は下記の点を読書活動の重点として推進しています。

#### 平成23年度 本宮小学校まなびフェスト 読書活動について

##### 【学校での読書活動】

###### ○読書冊数目標の設定

- 低学年・・・100冊
- 中学年・・・70冊
- 高学年・・・50冊

数値目標の達成のみを目標としているのではなく、目標達成に向けた取り組みと、取り組み過程を大切にします。

##### 【家庭での読書活動】

###### ○家族読書デーの設定

週に1回、家族同じ時間に読書をしよう（TVを消して）

##### 【地域での読書活動】

###### ○読書活動の推進

##### (1) 学校での読書活動

###### ① 朝読書

朝8：15～8：25までの10分間、一人一人が学校図書館、家庭より持ってきた本、学級文庫に準備している本を読んでいる。

###### ② 授業と連動した読書活動

国語、社会、理科、生活科など、子ども達は授業で興味・疑問をもった内容について解決・追求するために、学校図書館などの図書資料を活用している。

###### ③ 図書室分館利用（学級文庫、学年文庫）

全校1,100人が一斉に図書館を活用することは難しいので、学級内や学年廊下に分館して読書活動ができるようにしている。

###### ④ 図書ボランティアの方々の読み聞かせ

朝読書の時間や毎週水曜日の昼の時間に図書ボランティアの方々が読み聞かせ活動を実施している。

###### ⑤ 隙間時間の読書

給食準備時間やテストの後の時間等、隙間時間を活用して読書活動をする。



自分の好きな本を読んでいます。今度はいろいろなジャンルの本を読みたいです。



ドリルが終わり扶美子先生と一緒に絵本を読んでいます。あおぞら学級は読書が大好き！

## (2) 家庭での読書活動

### ① 読書記録カードを活用した家庭読書

右記の読書記録カードを活用し、学校図書館以外の図書利用の推進を図った。(学校図書館の利用は図書カードに記入し、公共図書館、家庭での読書を記録しまなびフェストの読書冊数集計に位置付ける。)

### ② 一週間に1回の「家族読書デー」

家庭読書の一つとして、一週間に1回、テレビを消して家族一緒に読書をする「家族読書デー」を設定している。平日に一緒に読書をする時間の設定は難しい家庭が多いので、週末を活用して家族読書ができるることを推進している。

### ③ 長期休業中の親子読書

夏休み、家や図書館などで親子一緒に読書の時間をもつことを推進する。  
(同じ本を読む。違う本を読む。読み聞かせをするなど。)

## (3) 地域での読書活動

各地区においては、公民館に設置している図書館開放、休館中の図書館運営に向けての協力、長期休業中に実施した子ども会の読み聞かせ行事に参加いただきなど、いろいろな支援をいただいている。

## (4) まなびフェストの中間評価（読書活動について・・・6月実施）

読書についての「まなびフェストの振り返り週間」を設定し児童の読書状況、家族読書デーの達成状況を振り返った。

	日常の読書活動		家族読書デー	
	児童の振り返り	教員の振り返り	児童の振り返り	保護者の振り返り
低学年	66.7%		29.3%	33.1%
中学年	76.6%		24.4%	21.9%
高学年	71.6%		24.4%	20.0%
全校	71.5%	33%	26.2%	25.8%

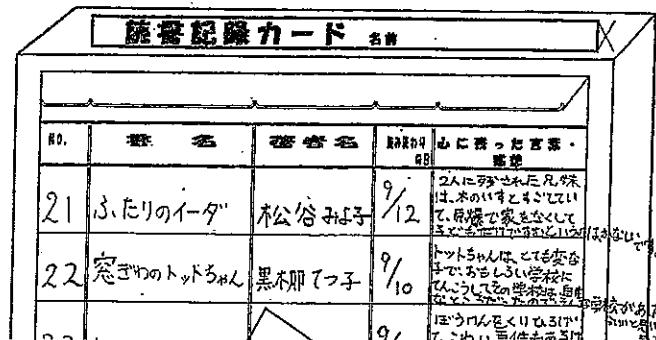
※日常の読書活動の児童の振り返りと教職員の振り返りの観点が違う。

(児童：平日読書をした割合 教員：読書冊数の到達状況)

## 最後に

読書活動は言葉を学び、感性を磨き、想像力を豊かなものにしていく上で重要である。現在の子ども達の読書状況は、読書が好きで、いろいろな場で読書に親しんでいる。

しかし、家庭、地域を全体でみるとまだまだ盛んに行われているわけではない。今後は学校、家庭、地域が連携し、読書活動の推進を図っていきたいと考える。



4月から30冊の本を読みました。夕ご飯を食べてから、読書することが多いです。

## 平成23年度 盛岡市立本宮小学校児童会

ほうじやく

### 2 宝積活動

原敬の言葉『人に尽くして見返りを求める』

平成23年度 児童会スローガン

**つながろう つなげよう 本宮の心**

各学年の取り組み

**<第1学年>**

「やさしさ」「きれいな学校」を合言葉に取り組んでいる。

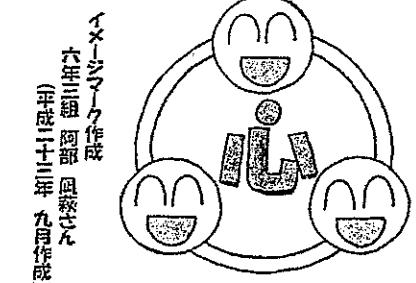
☆泣いている友だちや困っている友だちに声をかける。

☆あさがおに水をあげる。

☆ゴミが落ちていたら拾う。

☆そうじで黙働をめあてに頑張る。

◎帰りの会で発表して紹介しあう



つながりなす  
本宮の「心」

**<第2学年>**

「1年生にやさしくする」「友だちにやさしくする」「校舎をきれいにする」に取り組んでいる。

☆泣いている友だちや困っている友だちに「どうしたの」と声をかける。

☆「ふわふわ言葉」(温かい言葉)を使う。

☆黙働できれいにする。

◎帰りの会でVSカードに記入する

**<第3学年>**

学年テーマ「えがお」から宝積活動を「えがお活動」として取り組んでいる

えこ活動 節電・節水等

がっこう ゴミ・バスターズ

④はようございます！あいさつ運動

◎ 帰りの会で発表したり、VSカードに記入したりしています。

**<第4学年>**

友だちの気持ちを考え、助け合う「WA」を広げていく。

☆友だちの頑張りに気づく。

☆困っている人に声をかける。

☆よいと思ったことを進んで行なう。

☆ありがとうの温かい気持ちを広げる。

◎VSカードに記入し掲示し広げる。

**<第5学年>**

「気づき」「考え」「行動する」を大切に『宝積：人に尽くして見返りを求める』の行動をしていく。

☆あいさつ運動

☆朝の階段そうじ

☆昇降口前や校庭通路の雪かき

◎VSカードに記入し、自分の行動を見つめること他に広めていく。

**<第6学年>**

「宝積」の意味を考え、責任をもって行動する。

☆宝積活動(班毎に輪番制)

朝に正面昇降口、東階段、中央階段、西階段の清掃

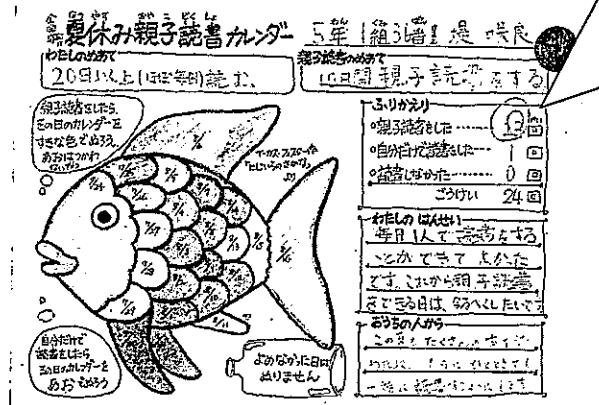
☆1年生のお世話

読み聞かせ、一緒に遊ぶ

◎VSカードに記入しながら、自分や学年としての「宝積」を積み重ねる。

### 3 図書館指導と図書委員会

#### (1) 図書館指導



#### 一夏休み中(24日間)の親子読書の記録一

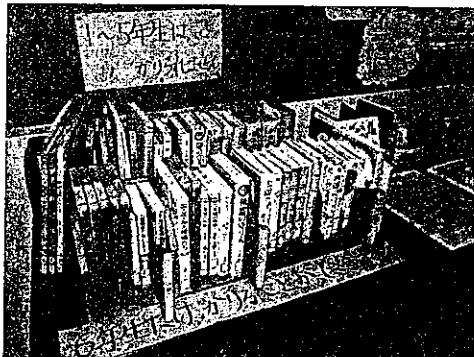
☆1日1回は本を開き読書することと、親子で読書するとの励みとしてカードを作成し取り組みました。

☆親子読書を1~2回実施したという親子が全校の5分の1ぐらいで多かったです。2年生は比較的親子読書の実施率が高かったです。これは1年生の頃に読書への取り組みが継続していると考えられます。

☆冬休み親子読書に反映させていきたいと考えています。

- 目標・・・一日1回は本を開き、読書する。
- 年間貸し出し冊数の目標値と目標達成率(8月末現在)

学年	目標冊数	達成率
低学年	70冊	90%
中学年	50冊	80%
高学年	30冊	70%



#### ○ 読書の幅を広げる工夫

- ・ 図書館貸し出しカードに分類チェック欄を設け、自分でチェックすることでいろいろな分野の本に親しむことを期待している。1学期末の時点で高学年にその成果が現れている。

#### ○ 図書館の環境づくり

- ・ 明るく、整っていて、読みたい本がすぐに探せるような図書館づくりを図書ボランティアの皆さんの協力を得ながらおこなっている。

#### (2) 図書委員会の活動



#### 一 夏休みの貸し出しの様子 一

1年生：「本を返します。」(カードも提示)

図書委員：「はい。わかりました。」

図書委員：図書カードに『みました』の印を押す。

1年生：「ありがとうございます。」

図書館：借りた本を読んでいる子もたくさん！

- 活動のめあて・・・全校のみんなが本を大切に扱うような工夫をする。  
本を身近に感じられるような活動をする。

#### ○ 主な活動

- ・ 毎日の活動は、本の貸し出し
- ・ 本の紹介
- ・ 児童朝会でのおすすめの本の紹介
- ・ 本の整理
- ・ 夏と冬休みの読書カードのまとめ
- ・ 読み聞かせ会やクイズ会の企画運営



#### 4 沿岸地区小学校への支援と交流

- 1 宮古市立愛宕小学校へ 4月22日・28日  
太田小・太田東小・繫小中・繫幼稚園・本宮小との連携  
義援金、学用品、ランドセル、文具、読書用図書など  
5校1幼稚園のご協力ご支援に感謝しています。
- 2 宮古市立愛宕小学校へ 4月22日（本宮小）  
友情の花を始業式及び入学式に合わせて届ける。  
6学年児童会 4学級で4つのプランター  
「つながろう つなげよう 本宮の心」
- 3 田野畠村立田野畠小学校へ 4月29日（本宮小）  
水泳学習に係る用品購入のための義援金
- 4 宮古市立愛宕小学校へ 6月1日（本宮小）  
6学年児童会 5月に各学級でガイドブックづくり。愛宕小学校6年生が盛岡市本宮地区に修学旅行で来た時に活用してもらうためのガイドブックを送付した。  
原敬記念館や県立美術館などの見どころがいっぱいのガイドブックだった。
- 5 愛宕小学校6年生が本宮小学校へ 6月17日  
修学旅行で本宮小学校を愛宕小学校6年8名が訪問した。ミニミニ運動会と意見交流会を行った。愛宕小学校からは、宮古のガイドブックをいただいた。



児童会の取組みから支援が継続している



- 6 田野畠村立田野畠小学校からお礼のメッセージが届く。 8月  
田野畠小学校全校児童の集合写真やお手紙、DVDが届く。
- 7 愛宕小学校 古玉校長先生 5年PTA行事で講演 10月14日  
講演に合わせて、義援金と防寒着などを5年PTAが贈った。
- 8 その他

本校には、福島県・宮城県をはじめ沿岸地区から延べ9名の児童が転入した。  
保護者、地域からの義援金などを活用して学校独自で物的支援を行っている。

## VII 成果と課題

### 1 成 果

本宮小学校区教育振興協議会が独自で毎年開催（1月）している「本宮小学校区教育振興運動実践発表会」では11地区と児童会、児童センターが発表している。そして、今年度からは、子ども会が増えて12地区となった。

その実践発表会では、これまで保護者主導の発表であったが、児童と協働して企画した発表へと質的に高まっている。そして、地域と子どもとの関わりがある事業がそれぞれの地区で数多く企画され実践されている。また、本協議会で毎年開催される「本宮の教育を語る会」（例年は11月の開催。今年度はI地区発表もあり共催としている。）も学校・地域・保護者のみの参加から、子ども達も参加して運営されるなど、この行事も子ども達と一緒に取り組む活動となってきており、本当の意味での教育振興運動に高まっている。

さて、今回の3地区の子ども会活動と図書ボランティアの実践は、本宮地区の読書活動に大きな刺激を与えていただいた。スタートしたばかりの読書活動、復活に向けた読書活動、33年続いている読書活動の発表から学び、それぞれの地区の読書活動が大きく前進したのではないか。そして、本宮小学校の「まなびフェスティ」での読書活動への取り組みが、車の両輪となって家庭教育における読書活動の在り方を前進させてくれたものと感謝している。

また、防犯活動は、PTAで防犯パトロール隊を4年前に結成したところ、地域からの賛同がありその後に本宮地区数町内会では子ども見守隊が結成されて、保護者・地域と連携して活動を積極的に継続している。このことは、不審者情報の減少や子ども達の健全育成に大いにつながっている。

さらに、伝統芸能・文化の継承活動も活発に行われている。「大宮神楽子ども教室」は7年目を迎える、演目は限られるが子どもたちのみで公演できるまでに成長してきている。東北の夏祭り「盛岡さんさ踊りパレード」を創り上げていただいた故藤原仁右エ門さんをはじめ、「大宮さんさ踊り保存会」が30数年以上前に教授した本宮小学校のさんさ踊りも大きな高まりを示している。そして、毎年6年生から5年生に継承され、運動会で演舞されるなど新たな本校の伝統となっている。

### 2 課 題

「まなびフェスティ」を通じた学校・家庭・地域での連携・協働を図りながら、本協議会の活動の重点である「読書活動への取り組み・安心安全な地域づくり・望ましい生活習慣の確立」を充実させ、心豊かな子を育てる取り組みをさらに継続する必要がある。

また、今回の大震災発生時以上に、学校・地域・家庭が連携して子ども達を災害から守るために初めての「本宮地区総合防災訓練」（11月17日実施予定）への取り組みも、全町内会・学区内で英知を集めて協力して行われなければ全校1,100名の子ども達の命はもちろん、地域を守ることはできない。日常の防犯活動でも、子ども見守隊などの取り組みが組織的に行われるようにしていきたい。

そして、平成24年1月27日に開催する「本宮小学校区教育振興運動実践発表会」において、本第I地区実践発表大会を受けて3ヶ月間の実践を全12地区子ども会がどう評価して発表するかも大きな課題である。

本宮小学校区教育振興協議会は、これまでの先輩がそうであったように、時代の様々な教育課題に対して敏感となって立ち向かっていく姿勢をもち続けなければならない。

# あとがき

本宮小学校区教育振興協議会顧問 平政光（本宮小学校長）

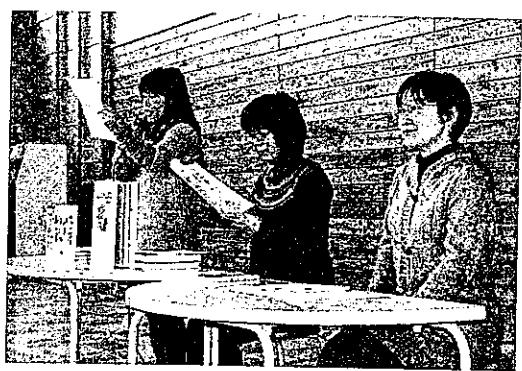
本年度第Iブロック発表大会において、繁小学校と本宮小学校、両校の教育振興協議会の実践発表をさせていただきました機会を与えていただきましたことに深く感謝申し上げます。発表に向けて、両校では教育振興組織や目的、重点等を例年以上に吟味し、検討会を重ねて、この日を迎えました。その過程におきましては、両地区の町内会長や民生児童委員の皆様、子ども会担当の保護者の皆様等、たくさんの方々との“かかわり”や“つながり”をもちながら進めることができました。本日の発表成果以上に、本日に至るまでの創造の道のりが何よりの成果だったと感じております。

教育振興運動のマンネリ化が一部叫ばれる中、私たちは、次のような視点を大事にしながら活動を推進してきました。

- (1) 課題を精選すること。多様化する諸課題の中から、重点課題を集中的に取り扱うことにより、目標を共有しながら一体化した展開が実現しました。（今回は、読書活動に重点化）
- (2) 地域の教育資源を活用すること。地域は教育資源の宝庫です。今回も地域の公民館や諸団体の人材等、地域の教育力を高めるために貴重な働きをしてくださいました。
- (3) 子どもたちが「主役」であること。※下の校長挨拶を参照

## 自分を磨く努力を怠らないこと！

昨年度の実践発表会。読み聞かせと貴重な読書紹介で参加者を魅了した図書ボランティアの皆さんです。



### 《昨年度の本宮地区実践発表大会》

平成23年1月28日。この日は、午後2時の開会に先立ち「大宮神楽子ども教室」による演舞と図書ボランティアの皆さんによる「本の紹介と読み聞かせ」が行われ（写真右）、本宮を支える大きな力に拍手が起きました。実践発表では、11地区の子ども会と児童センター・児童会の発表が行われ、今年の成果がよく見える発表ばかりでした。

まとめとして校長からは、「“子どもは地域の宝物”と良く言われます。だからあなた方は、地域にとって大切な宝＝宝石（ダイヤモンド）なのです。しかし、宝石は磨かなければ光りません。小さいうちは、家族や先生、地域の方々が子どもを大切にして、周りの大人がみなさんを磨いてくれますが、大きくなると磨くお手伝いはしてくれません。それは、子ども自身に“磨く力”が備わってくるからです。自分自身を磨いて、もっともっと光輝くためには、自分は何をすべきか…これから的生活で考えてほしい課題です。」と話しました。

3学期

## 「教振」は全国に誇る“岩手らしさ”です！

その中でも「繁・本宮の特色」は特筆されます！

### 実践発表会

心豊かな子どもを育てよう

### 本宮の教育を語る会

2学期

### ブロック別発表会

### 学校と家庭・地域をつなぐ まなびフェスティ！

家庭では…（本宮小学校の一部）

- ①家族みんなで明るい挨拶
- ②家族一緒に読書デー
- ③早寝・早起き・バランスのよい朝ごはん

地域では…

- ①地域みんなで挨拶
- ②クリーン作戦
- ③子どもの安全見守り隊
- ④図書施設の充実…

### 各種スポーツ交流

### 地区懇親会

1学期

最後になりますが、昨今、教育課題が多様化する中で、両校の学区とも地域の教育力の基礎が出来ており、合わせて保護者の学校に対する関わりが深いことから、今後も、学校と地域・家庭が一体となつて協働いたします。子ども達の未来を創つていくことをお申上げ、参加された皆様への御礼と